

国際教育への取組について

資料7

青梅市教育委員会

学習指導要領の国際理解

小学校：社会、外国語（外国語活動含む）、道徳、総合的な学習の時間

中学校：社会（地理、歴史、公民）、外国語、道徳、総合的な学習の時間

TOKYO GLOBAL GATEWAYを活用した校外学習

対象：小学6年生、中学2年生

内容：外国を模した擬似空間で日常英会話にチャレンジする「アトラクションシーン」と、さまざまなテーマについて英語で学ぶ「アクティブイマージョンシーン」のプログラムを体験する。自然に発話ができるように工夫されており、児童・生徒の能動的な学習を図る。

私はTGGに行って、英語に対する意欲が少し高まったと思います。TGGでは、エージェントの人が分かりやすく教えてくれたので、楽しめたと思います。

英語が苦手でもできることが多くて良かったです。シーンにあわせて言う英語の文法や単語がよく分かって英語力がついたなと感じました。



英語指導助手（AET）配置事業

対象：市内全小中学校

内容：概ね月4～5回、英語指導助手（外国人講師）を学校へ派遣。小学校・中学校での外国語等の授業を通じて、児童・生徒の語学や国際理解等の学習活動を支援する。



外国語にふれる機会の創出事業（都）

対象：小学校5～6校

内容：東京都内の公立小学校において英語が堪能なネイティブ人材を活用し、各授業や休み時間、放課後に遊んだりする中で、場面に応じた英語による自然なやり取りを学ぶ。児童の英語を介したコミュニケーション能力の向上および国際理解教育の推進を図る。



国際理解講座

対象：小学4年生～高校生

内容：（公財）青梅佐藤財団と共催で英会話講座や文化講座を年20回開催している。

学校給食

小中学校の学校給食において、国際理解教育の一環として、外国の食文化を取り入れた給食を年6回程度提供している。